



**地域の皆様と共に活動したことが評価され、
平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる
文部科学大臣表彰を受賞しました。**

感謝 ～ 6年目を迎えて～

豆ボラ神守 本部長 城 和彦

日頃は神守中学校支援地域本部に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当本部も発足から5年が過ぎ皆様からのご支援のお陰をもちまして6年目を迎えることができました。発足当初は何も分からず見本も無いままスタートをしましたが、時が過ぎるごとにスタッフのボランティアに対する考え方も変わり、生徒たちも自分たちが支援を受ける側からする側へと意識を変え、地域へのボランティア活動も盛んになりました。

平成27年12月3日に文部科学省より表彰を受けることができました。この賞を受け、国・県が目指す「学校を核とした地域づくり」を我々は精力的に地域の皆様と共に取り組んでまいります。今後ともご支援よろしくお願ひ申し上げます。

本の紹介

**「本物のアクティブ・ラーニングへの布石
授業を作る・学校を創る — 教育方法学のすすめ」**
平山 勉：編著 黎明書房

真のアクティブ・ラーニングを実現するために必要な
教師の創意工夫が散りばめられた数々の実践や学生ボランティアの実践を紹介。

この本には、津島市学校支援地域本部 兼 豆ボラ神守 相談役 梶村 明人が豆ボラの創設の経緯から5年間の活動を20ページにわたって掲載しています。ご興味がある方はぜひ手にとって読んでみてください。



図書ボランティアさん募集中!

神守中学校図書室開館（火・木曜のお昼休み）
をお手伝いして下さる方、ご連絡ください♪



お待ちしております!

学習支援 を手伝ってくださる
ボランティア（通称：学ボラ）さん については
5月の津島市広報をご覧ください。
退職された先生や講師の先生も大歓迎!

神守中学校支援地域本部 豆ボラ神守

お問い合わせ

本部事務局 090-9944-4679（平日 9:00～19:00）

✉ info@mamebora-kamori.chu.jp

神守中学校内 Tel: 0567-28-4054 Fax: 0567-28-4053

✉ mamebora2010@softbank.ne.jp

これを見れば豆ボラ神守が丸わかり!? コーディネーターブログを日々更新中!

豆ボラ神守ホームページ <http://mamebora-kamori.chu.jp/>

豆ボラ で 🔍 検索!



平成28年4月吉日発行

こんにちは!

まめ
豆ボラ神守です

まめお と まめこは
豆ボラ神守の
マスコットキャラクターです。

神守中学校地域支援本部

まめお

豆ボラ神守設立5周年 感謝 特別号

豆ボラ神守は地域と学校（生徒）が顔見知りとなり、日常の中で自然に声を掛けあえる地域づくりを目標に互いの交流を深めるためのかけ橋活動を行っています。

おかげさまで豆ボラ神守は平成22年の発足から6年目を迎えることができました。神守中学校を軸として、地域ぐるみで子どもを育て、学校を支援するとともに地域の力を高めるべく、手探りで活動してきたこの5年。さまざまなご協力のお陰で活動も地域に定着しつつあります。支援活動は、学校・生徒に向けたものと、中学生が地域にボランティアとして出向くものがあります。子どもから大人へ成長する中学生の時期に、ボランティアとして地域に貢献する経験はとても貴重です。そんなボランティアの受け入れ先としてご協力いただいているのが、校区内の3つの小学校地区コミュニティです。毎年行事の際は、中学生ボランティアを要請して下さっています。今回は各代表の方々にお話をうかがいました。

- ◎ 蛭間地区コミュニティ推進協議会代表：長谷川さん
- ◎ 神守小学校区コミュニティ推進協議会代表：三輪さん
- ◎ 高台寺小学校区コミュニティ推進協議会代表：安藤さん

「コミュニティ推進協議会」とは、津島市内8つの各小学校区で自主防災・見守りなど地域づくりを推進する団体です。

受け継がれ始めた 地域愛

まずはじめに、豆ボラ設立以前の神守中学校の生徒さんに対するイメージはどんなものでしたか?

高台寺 神守 正直言ってあまりよくありませんでした。わが家では久しく中学生がいなかったこともあり、身体は大人に近いが何を考えているのかわからないし、地域のつながりは全くないと感じていました。

蛭間 発足当時と比べ明るくなったと思います。

次に「神守中学校支援地域本部（豆ボラ神守）」という言葉を知った時はどう思いましたか? 発足当時の豆ボラ神守の印象はどんなものでしたか?

蛭間 当初は生徒さんも何を手伝えれば良いか戸惑いが感じられましたが、今では積極的にお手伝いをしていただいています。

神守 高台寺 どういう活動をするのか? 成果があがるのか? 疑問に思っていました。あまりよくわかりませんでした。

初めて中学生を地域行事にボランティア依頼しようと思ったきっかけは?

高台寺 神守 蛭間 当時の女性役員さん方のアイデアです。コミュニティフェスティバルの参加者の年代に中学生の年代が全くないことに気づいて、役員が高齢化でお手伝いが大変になってきたので。

中学生ボランティアと共に活動をしてみてどうでしたか?

神守 高台寺 蛭間 中学生を身近に感ずるようになりました。コミュニティの役員には高齢者が多いため、力仕事や身軽な動きを要する仕事が助かりました。特に3～4年程前から大変積極的に活動してくれ、皆さんの笑顔にまわりのスタッフも癒されました。今では行事に欠かすことのできない存在です。

コミュニティ行事に中学生ボランティアを受け入れていただいたことで、地域の皆様の反応や意識の変化を感じることはありますか?

蛭間 神守 高台寺 高齢の方々に喜ばれています。中学生がボランティア活動に積極的に参加する姿を見て、地域の将来に明るさを感じます。若い皆さんが参加してくれる事で全体が明るくなった。好感度は大幅にアップしました。

最後に、豆ボラ神守に期待されることはありますか?

神守 蛭間 高台寺 豆ボラ神守を発想し、継続活動しておられることを敬服しております。地域のため、また、中学生自身のため、今後ともよろしくお願ひします。色々な行事に参加手伝いすることにより、将来大きな財産になると思います。これからもよろしくお願ひします。

なるほど! 地域行事に中学生ボランティアが参加すること自体が、世代を越えた地域の繋がりを
作るお手伝いにもなっているんですね。中学生も、良い経験をさせていただいています。
貴重なお話をありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。



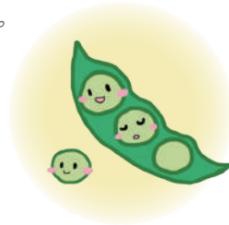
「豆だなも」とは、尾張弁で「精がよく出る、よく働く、元気ですね」という意味。「元気な神守」を目標に、地域の皆さんが、豆(まめ)に動いてくださること(ボランティア)で、種である豆(将来を担う生徒)に感謝の心が芽生え、やがて次世代に受け継がれる豆(結実)になり、住みやすく・心の通う神守の実現を目指すものです。「豆」に込められた意味には深いものがあります。豆は、エネルギーの源であるタンパク質を多く含んだ食品。固い豆を何度も噛むことで、あごが発達し、脳を活性化します。身体にいい「豆ボラ」を通して、地域の方々のこれまで蓄積された知恵や知識や技能を神守中学校や神守中学校の生徒のために、十二分に発揮していただくことで、元気な神守を目指します。

豆 神守には な人がいっぱいいます。

神守中学校支援地域本部「豆ボラ神守」の支援活動を支える人たち

豆ボラでは、さまざまな方がボランティアとして活動しています。
神守中学校在校生の保護者、卒業生の保護者、数年前に卒業した大学生、そして〇十年前に卒業した世代も。
在学、卒業に関係なく、地域に暮らす方々にもたくさんご参加いただいています。
この5年間の活動で、みなさんの思い、趣味得意分野、専門技術を活かす場として、
神守中学校を中心に地域の輪が広がっています。
本紙面では、豆ボラに参加する「豆な」人たちの声を交えつつ、活動を紹介します。

※ 御紹介しきれなかったたくさんの声を、ホームページでアップします。是非ご覧ください。
※ 本紙面では「神守中学校支援地域本部 豆ボラ神守」を略して「豆ボラ」と表記します。



生徒や先生の穏やかな笑顔を見ると、学校の雰囲気落ちているのが解ります。巡回をしていると、私の顔を覚えていてくれて、わざわざ駆け寄って挨拶してくれる子もいて、うれしくなります。中学生の成長をこれからも見守り続けたいと思います。
(津島市少年補導委員会 会長 兼 豆ボラ神守 顧問 加藤さん)



温かく見守って



久しぶり！
元気だった？
この子は！

津島警察署、津島市少年補導員のご協力のもと、豆ボラの生活安全支援ボランティアが校内巡回を行っています。昔ながらの「近所のおじさん、おばさん」の優しいまなざしで見守ります。



図書室へようこそ

読書は心の栄養。図書室の貸し出し業務や、本の整理、お勧め本のディスプレイなどをお手伝いしています。「この本おもしろいよ」「映画観た？」などと、本好き同士、年代を越えた読書トークで盛り上がるのも楽しみのひとつです。

図書ボランティアさんたちの声



少しでも役に立てたら、と思って始めましたが、子どもたちの笑顔や気持ちいい挨拶、何気ない会話でこちらが元気をもらっています。居心地のいいホッとできるような図書室にしたいと思っています。

短い貸し出し時間でも、生徒たちは本を読んだり選んだり、友だちとおしゃべりしたり、本当に楽しそう。「いつもありがとうございます」と生徒さんに言われたときはとてもうれしかったです。



「月テラ」「ドテラ」(月曜寺子屋・土曜寺子屋の愛称)と称して、月曜放課後・土曜の午前中に、教員を目指す大学生や元教員で構成される学習ボランティアが希望する生徒に勉強を教えています。大学生のお兄さんお姉さん先生は生徒たちに大人気。毎年、ここで「教えること」を学んだ「先生の卵(豆?)」たちが「本物の先生」として旅立っていきます。生徒たちも、お互い教え合ったり、励まし合ったりしながら学習習慣を身につけます。



ともに教え 学び合う



Uさん●神守中卒業生。大学生のとき生徒に勉強を教えるボランティアとして豆ボラに参加。現在は海部地区の学校で教員として活躍中！

豆ボラに参加する前は、学校現場に入れるだけでも利点とらえていましたが、いざ始めてみると予想以上にたくさんの方が経験できました。勉強を教えることや指導することなどまだまだ力不足だったので(笑)、ベテランの先生方に聞いたり、同じ年代の仲間と協力して教えたり。この経験は今とても役に立っています。勉強を教える先生が「大学生」なのは、中学生には良い組み合わせだと思います。ボランティアをしているときには気付かなかったのですが、年齢が近いので話しやすいし、打ち解けやすい。高校や大学のリアルな話を聞くこともできるので、良いことばかりです。また、先生たちにも大学生が一生懸命に頑張っている姿が影響を与えていると思います。「もっと頑張ろう!」と。先日久しぶりにドテラ(土曜寺子屋の愛称)に訪れた時、実際に自分が感じたことです。初心を思い出させてもらいました。今の神守中学校はとても羨ましい環境です。学校に保護者や地域の大人がいることが当たり前になっていて、地域との繋がりも濃く、地域で生徒を育てる環境が整っているからです。学校の先生以外の大人が入ることによって、挨拶ができなかった子ができるようになったり、敬語が使えなかった子が使えるようになったり、生徒たちが学べることは沢山あると思います。

豆ボラの存在は、生徒にも先生にも保護者にも地域の方にも良い効果をもたらしています。これはボランティアをしていた時よりも現場に出てから強く感じるようになりました。長くなってしまいましたが、豆ボラは自分の原点なので、また機会があったら伺います。これからもよろしくお願いします。



緑豊かな憩いの場に

心地よい空間を

この夏には、水はけが悪かった自転車小屋に排水整備を施しました。雨のたびにできていた水たまりが無くなりました。



神守中のビフォーアフター

寂しかった中庭も



こんな活動も

自分の将来を考える手助けとして、生徒たちが直接社会人の方々に話を聞く機会を設ける取り組み(キャリア教育)や、学校に行くのが辛くなってしまった生徒とそのご家族のサポートをする活動、海外からの転入で日本語が十分に習得されていない生徒への学習支援など、学校の要望に応じてさまざまな支援活動を行っています。

